

「みなとオアシスるもい」における新たな防災の取り組み ～官民共創による「備蓄水ボックス」の設置～

留萌市 地域振興部港湾・再生可能エネルギー室

「みなとオアシスるもい」は、みなととまちなかや周辺地域との交流機能の強化、観光客への留萌地域の情報発信を強化し、まちの活性化や魅力ある街づくりを進めるため、令和2年7月26日に登録されました。

代表施設である「るしんふれ愛パーク」（船場公園）は「道の駅るもい」でもあり、年間約40万人もの市民や観光客が集う交流・観光の拠点として大きな賑わいを見せています。

近年、全国各地で地震や暴風雨などの自然災害が頻発・激甚化しており、地域の防災力向上が喫緊の課題となっています。「みなとオアシスるもい」もまた、平時は憩いの場として機能する一方、災害時には一時避難場所や広域防災拠点としての重要な役割を担っています。

この度、「留萌市」および「みなとオアシスるもい運営協議会」は、「北海道コカ・コーラボトリング株式会社」様との官民共創により、地域の災害支援機能の充実を目的とした新たな取り組みをスタートさせました。その一環として、令和8年1月28日(水)、同社との協

働により「るしんふれ愛パーク管理棟」内に、災害時に活用可能な「備蓄水ボックス」を設置いたしました。

この「備蓄水ボックス」は、同施設1階の24時間トイレ入口付近に設置されており、万が一の災害発生時には、飲料水を提供できる仕組みとなっています。なお、民間企業との連携により「みなとオアシス」へ備蓄水ボックスを設置するこの取り組みは、北海道内で初の事例となります。設置当日には関係者による設置式も執り行われ、地域の防災機能強化に向けた結束を新たにいたしました。

今回の「備蓄水ボックス」の設置により、「みなとオアシスるもい」を訪れる皆様に、より一層の「安全・安心」を提供できるものと確信しております。留萌市では、今後も「みなとオアシスるもい」の魅力向上に努めるとともに、関係機関や民間企業との連携をさらに深め、みなとの賑わい創出、災害に強い港湾空間の形成と地域振興を推進してまいります。

読者の皆様におかれましても、留萌市へお越しの際は、ぜひ「みなとオアシスるもい」へお立ち寄りください！



備蓄水ボックス（設置場所）



備蓄水ボックス（設置式）



備蓄水ボックス設置式(コカ・コーラ山田専務、中西市長、佐藤会長)



関係者集合写真